



「同じような既存アプリがない」→ ということは「初」タイプ

私は 2015 年の中頃から Android アプリの製作にも挑戦しました。そして 2016 年の初め頃には iPhone アプリの製作にも挑戦していました。世界中では iPhone のユーザーが増えつつあり、必然的に iPhone アプリも人気が高まっていました。アップルのアプリストアにアプリを置いてもらうには、非常に厳しい審査が待ち受けています。Web 検索をかけるとその具体的な内容がすぐわかります。その当時、アップストアに登録済みのアプリ数は世界計で約 200 万本。審査に申請してから審査を通過するまでに 1～2 度のリジェクト（却下）を受けるのは当たり前、通過するまで何度でも改良を続けるという、非常に厳しい難関とされていました。たとえ審査通過が早かったとしても、2～3 週間はかかるのは当たり前、そのような記述が見られました。その審査の基準はアップルのガイドラインにきっちりと示されていますが、それらを単純明快に示すとすれば、「同じようなアプリがすでに登録されていないこと」・「わかりやすいこと」・「面白いこと」・「実用的であること」・「先進的であること」、等があげられていました。私も Android アプリのコンセプトを踏襲して iPhone アプリに挑戦していましたので、2016 年 1 月 18 日（月）にアップルへの申請を行いました。そうすると、なんと、1 月 22 日（金）に届いたメールには「審査を通りました」との内容。申請をしてから 5 日目の朝には「通過」の連絡でした。まさか、こんなに速く、超速通過の通知を受け取るとは夢にも思っていませんでした。世界中で約 200 万本がひしめいていたアプリの中で、これが通過したということは、「同じようなアプリがすでに登録されていないこと」の基準にも通過したことになります。実際にアプリストアで「天気」「ニュース」等のカテゴリで検索をかけ調べたりしても、「天気予報」や「過去天気」タイプのアプリはあっても、「統計天気」のようなアプリに出会うことはありませんでした。また、PC ソフトを含めて Web 検索してありませんでした。この経験から導き出せる結論はぐっと狭まります。このようなビジュアルな統計タイプのお天気ツールは、スマホアプリ・PC ソフトの中で、これが「初」のタイプかもしれないということを経験しました。

アプリのことに話題が移りましたので、ここで、アプリ開者本人からの偽らざるお薦め度ですが、私のスマホアプリは、「画面サイズが小さい事に合わせて、操作し易いインターフェースを工夫する」という作り込みの完成度が低いということもあり、お世辞にも使い良いとは言えず、お薦め出来ません。PC ソフトのように「見たい日をサクサクと選んで瞬時に表示できる」（晴れナビ）のような便利な機能が無いのがその理由です。やは

りユーザーフレンドリーな操作性では PC ソフトにはかないません。ただ、スマホアプリに軍配が上がるとすれば、モバイルの携帯性です。用途に合わせて使い分けていただきたいと思います。最近では、Surface-PC のような大画面のタブレット型ノート PC も出て来ましたので、「大画面で使える PC ソフト」をアプリ開者本人からお薦めします。また、どんなに時代が進化しても、大画面を持つデスクトップ PC が無くなることは無いと思います。なお、アプリの操作性については、今後の改善課題としたいと思います。

追記：2022年08月23日（火）

後日談になります。その後の経過等について追記します。

アップル社の開発チーム、ストアチームの対応はとても親切で丁寧です。私は英語が堪能では無いので、機械翻訳に頼りながら何とかメールのやりとりをしていました。私のアプリは毎年新しいデータと差し替えしなければいけないので、そういうバージョンアップ版の申請をしていて、何やら「こちらから電話をするので、〇月〇日の何時頃が良いか返信を」というメールで、当日用意して待っていると、何と日本語での会話が OK でした。

「ハ〇〇〇さん」と自己紹介があり、日本語でやりとり出来るとは思ってもいなかったもので、感謝感激でした。しかも、電話番号からして米国からの通話だったので、なおさらでした。そして、新しい申請について、アップル側からの要望があり、要約すると「アプリの本数を少なくまとめてほしい」という趣旨でした。対応しました。それまでは、「東京版」で1本。「大阪版」で1本。「名古屋版」で1本。というように、地域毎にアプリを作っていたので、それをまとめて、全国59地点分を、3本のアプリに統合して出しました。本当ならば1本にまとめたかったのですが、アプリのサイズ 500MB ? 上限（だったはず）があったので、容量オーバーで3本に分けて出すことで対応しました。アップストアではアプリ数が増えるにつれ整理する方針となった背景があったように思います。アプリの64ビット化の要請もありましたが、ハードウェアの調達が難しかったので、それは対応出来ませんでした。

翌年、またバージョンアップ版の申請をすると、同じく「ハ〇〇〇さん」が対応してくれ、その年の課題は、「最新の iPhone の機能を使ったバージョンを出して欲しい」という要請で、私自身の開発用デバイスは iPhone 6 の古い機種で、その要請には添うことが出来ず、またその他の自分の都合も重なり、その年から新しいアプリをストアから公開できなくなり、やがてその内アップストアからの公開は一時休止することにしました。Android アプリは何とか Amazon ストアから公開しているのですが、そのうち条件を整えて、公開を再開したいものだと思っています。スマホアプリは、小さくて使い勝手はあまり良くないのですが、しかし、モバイル携帯出来るという大きな魅力があるので、PC とスマホの両方を使える事で最高のパフォーマンスを発揮できるので、是非そういう方向性に持って行こうと思っています。斯う、ご期待！です。